



# 千葉労働動向

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 | (鉄電) 千葉 2935・2936 番  
(公) 千葉 (22) 7207 番

90.10.11 No.3291

## 第17回定期大会 (2日) 闘う方針確立

# 闘う方針確立はストの権利否定にはストで闘う

91.3.21改、清算事業団闘争、反天皇  
然るに闘争総力決起など

# 闘う方針を万場一致で決定

大会二日目は、争議団の仲間の決意をではじまり、遠路かけつけた動労西日本の井面委員長、動労連帯高崎の和田山委員長から心のこもったあいさつを受け、ただちに、今秋から九一年にかけての闘う運動方針が提起され、真剣で実践的な討論が展開された。

主な意見、質問は、  
※ 九一・三ダイ改で反合・運転保安確立をかけた闘うべきだ  
※ 役員への不当処分発に對し、これ以上黙っていられない。反撃戦にたとう  
※ 貨物職場に對し、労働時間の見直しを契機に、労働強化・合理化が加えられてきている。闘いを通し歯止めが必要  
※ (出向について) 本人の意思を無視して場合ストを辞さず闘おう  
※ 営業協議会の分科会化について、基本は賛成だが移行に当たっては、十分討論を  
※ 職場からの反撃を強めるためにも学習会を

大会二日目は、争議団の仲間の決意をではじまり、遠路かけつけた動労西日本の井面委員長、動労連帯高崎の和田山委員長から心のこもったあいさつを受け、ただちに、今秋から九一年にかけての闘う運動方針が提起され、真剣で実践的な討論が展開された。

清算事業団や被解雇者は家族も含め苦闘している。「争議団」の財政確立のために全力をあげる。土職登用にむけて、全力をあげよう。等々、多数の代議員の予定時間を超過する発言に

九一・三ダイ改、業務移管・組織破壊には何回でもストライキを！  
— 中野委員長長の総括答弁

JR東日本は破局的現状のうえに、又々「六万人体制」にむけての合理化をねらっている。加えて動労千葉破壊を狙って「効率」からすれば百%逆行する業務移管攻撃を策動している。これ以上当局の好き勝手に許してはならない。労働組合に団結し、闘いの力で打開する以外に特効薬はない。動労千葉は厳しくともJR本体と被解雇者四六名が苦楽を共にしながら一体になって闘う道を切り開いてきた。解雇者も長い人では五

- 意をうち固めよう。  
自衛隊の海外派兵の動きにもみられるように、今日の情勢は、大変な歴史の転換にたっている。あわせやりきろう。
- 反天皇シンポジウムを突破口に秋季闘争をやりにきり、九一・三ダイ改にむけて、みんなで力をあわせやりきろう。
- スト権一票投票で圧倒的にスト権確立
- 今秋から九一年を闘うにあたって、スト権一票投票が厳粛に実施され、代議員四二名中四一名の賛成・無効一名で圧倒的にスト権が確立された。結果が報告されると、会場内から「ヨシ！」「頑張るぜ！」といった声援も出て、決意もよりうち固められた。
- 今秋からの激戦激闘に勝利しぬくために、本部執行委員の補充が行われ、出された。
- 新たに選出された役員
- ※執行委員  
高石 正博 津田沼支部 運転士  
川崎 昌浩 " 車両係
- ※会計監査員  
佐久間英雄 木更津支部 運転士  
佐藤 正和 新小岩支部 運転士